

検討会の概要

検討会の概要(1)

●目的

高齢化の進展や障がい者の社会参画の拡大等により、様々な状況における音声以外の緊急通報手段の需要が高まることが予想されることから、聴覚・言語機能障がい者等に対応した緊急通報について、いつでも全国どこからでも、音声によらない緊急通報技術を検討し、その手段を確立すること。

●検討方法

これまでの経緯を踏まえ、本検討会においてアプリ方式^(※)に関する実証実験を通じた検討を行い、聴覚・言語機能障がい者向けの119番通報の多様化に向けた技術的条件仕様を作成することとする。

(※)個人情報を利用者の端末で管理する方式

なお、本検討会で議論するにあたり、まずは聴覚・言語機能障がい者を対象とした技術の早期導入・普及を目指すという観点から、以下の検討前提条件を付すものとする。

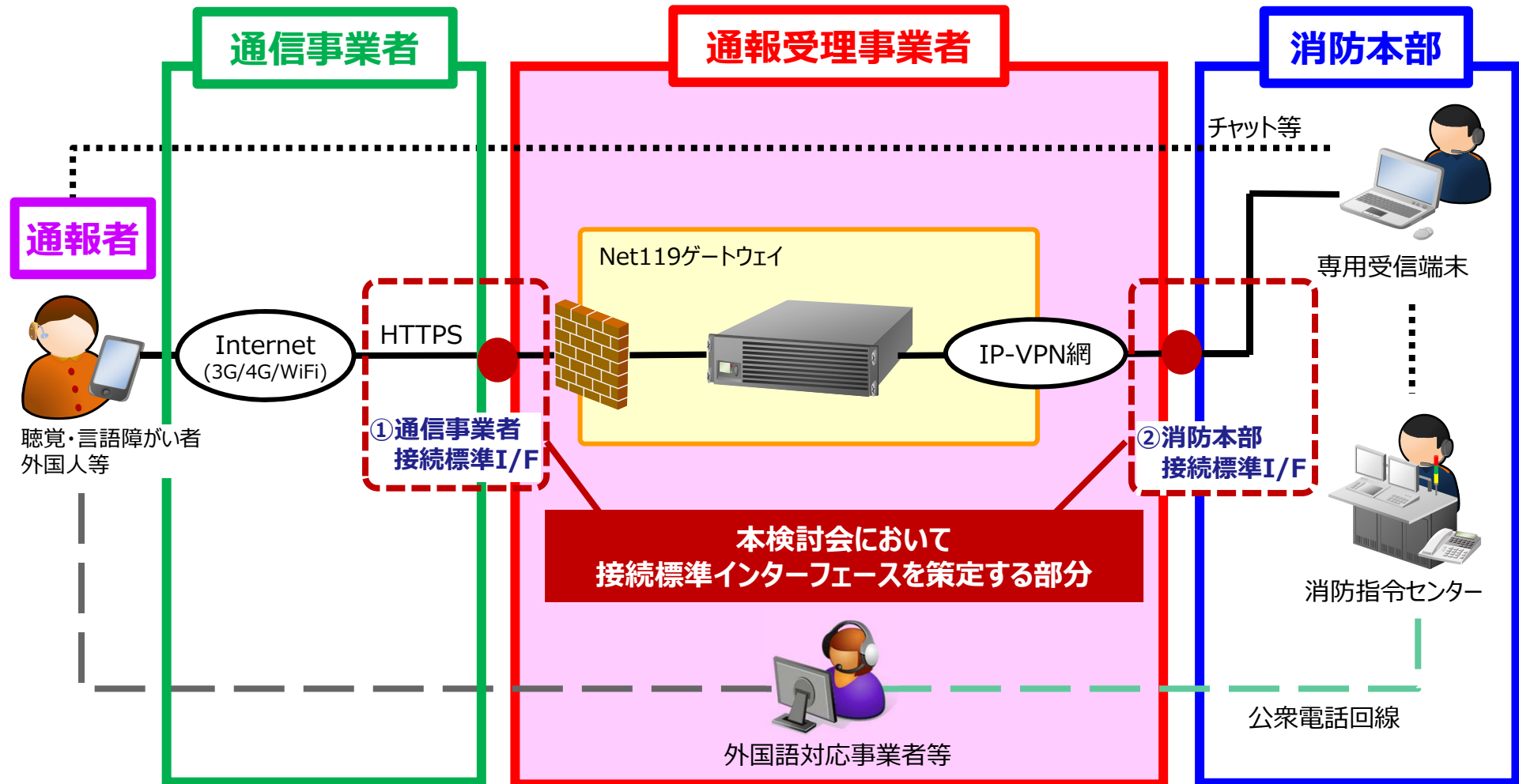
1. 検討対象は「通報時」に限る。
2. 通報時には最低限の情報のみを聴取し、消防本部の迅速な出動を優先する。
3. Web119既存事業者と同等レベルのサービス提供を想定する。

検討会の概要(2)

●検討項目一覧

分類	No	検討項目	検討ポイント
技術的 条件仕様	1	通報時聴取項目及び 通報者インターフェース	・通報時に必要な聴取項目 ・聴覚・言語機能障がい者に適した画面仕様
	2	消防本部インターフェース	・消防本部等における通報内容の把握に適した画面仕様
	3	回線通信手段	・サーバと消防機関間で利用する回線の要件
その他	4	基本情報の事前登録	・事前登録する通報項目(氏名、年齢等) ・通報情報の格納先(サーバもしくは通報者端末) ・個人情報の取扱い方法
	5	通報方式選定(Web/アプリ)	・Web形式とアプリケーション形式のどちらが適しているか
	6	位置情報の取得	・GPS情報が取得できない状況で通報された場合の検討
	7	サーバ要件	・サーバに必要とされる性能要件およびセキュリティ要件
	8	非参加消防機関との連携	・非参加消防機関の管轄地域から通報された場合の運用
	9	サービス提供事業者のあり方	・安定かつ安全的にサービス運営するための業者条件
	10	一般利用者を含めた普及促進	・利用申請の要否、方法 ・過渡期の対応、公正性・料金負担、広報・周知方法等
	11	外国語対応等	・通報者を外国人まで拡大した場合のサービス要件 ・手話通訳サービス、外国語通訳サービス等の外部サービスとの連携

【参考】接続標準インターフェース概要図



検討会スケジュール(1)

回数	日程	主な議題（予定）
第1回	平成27年9月1日	・検討会の進め方 ・通報時聴取項目 ・通報者／消防本部インターフェース ・実証実験の概要
第2回	平成27年10月上旬	・実証実験の実験項目 ・事前登録 ・位置情報の取得
第3回	平成28年1月下旬	・実証実験中間報告 ・サービス提供のあり方 ・普及促進、外国語対応等 ・報告書骨子案
第4回	平成28年2月下旬	・実証実験結果報告 ・報告書案

検討会スケジュール(2)

内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会	★ 第1回 (9月1日) 第1回検討会 ・検討項目提示 ・論点整理① ・実証実験項目提示	★ 第2回 (10月上旬) 第2回検討会 ・論点整理② ・実証実験項目決定				★ 第3回 (1月下旬) 第3回検討会 ・実証実験中間報告 ・論点整理③ ・報告書骨子案揭示	★ 第4回 (2月下旬) 第4回検討会 ・報告書作成	
システム構築 (期間3か月)			↓ 着手	→ システム構築 → 完了				
実証実験 (期間1か月)						→ 実証実験 → 【実証先】東京消防庁・埼玉西部消防局		
契約関係 (実証実験)	★ 調達公告 (8月14日)		★ 契約締結 (10月16日予定)					